

課題制作の前に

- ① 課題を制作／提出する前に必ずこの「手引き」を読んでその指示に従って下さい。制作／提出に際しては、この「手引き」に記載されている条件を満たすことが必要です。
- ② 提出物は「制作指示書」と「作品」の2つです。いずれにも必ず受験番号／氏名／選択課題名（A Bの別）を明記して下さい。作品に記入するときは印刷仕上りサイズの外側に明示して下さい。これらの記入がないと不合格になることがあります。
- ③ 「制作指示書」「作品」とも PDF データをアップロードして提出して下さい。CD や MO などを提出しても審査の対象にはなりません。また提出された CD や MO などは返却しません。
- ④ 「作品」は PDF/X-1a のデータで提出して下さい。

I-1 課題の概要

I-1-1 出題の趣旨

課題制作の「制作指示書」と「作品」は、オペレーション能力やデザインセンスだけでなく、DTP 制作を指導、管理するにふさわしい能力を審査するのが目的です。そのような能力には次の3つの側面が考えられます。

- ① **デザイン（設計と指定）、製版／印刷への配慮**
印刷物の紙面を設計し、また紙面の全要素について製版／印刷工程の特性を考慮に入れた的確かつ詳細な設定および指定の指示を行う能力。
 - ② **DTP システムの理解**
DTP のシステムおよびハードウェアとソフトウェアなどの環境設定をよく理解して、効率のかつ合理的に指示を行う能力。
 - ③ **ワークフローと段取り**
複数の人間、あるいは工程の間を仕事がスムーズに流れる段取りとわかりやすい指示を行う能力。
- 以上を統合した観点から提出物（制作指示書、作品）を採点して合否を判断します。統合的／システム的な作業を前提としているのでコンピュータを使った作業が原則です。「制作指示書」と「作品」の制作上で不明な点や判断に迷う事は、受験者自身で考え第三者が制作する上で困らないよう指示する事が必要です。これも DTP エキスパートとして求められる資質です。

I-1-2 「制作指示書」の制作条件

- ① この「手引き」でいう「制作指示書」とは、受験者が指示を与える立場に立って、「受験者が制作した方法を、第三者が継承して制作するために必要な各種設定や制作手法、制作工程、注意事項などを記したものの」ことです。単なる「作業手順書」のことではありません。
- ② 「制作指示書」の目的は、誰が作業をしても一定レベルの品質を保ち、かつ効率よく制作できるような設計（作業計画や段取り）に基づいた制作工程や詳細設定を正確にわかりやすく伝えることです。した

がって、「制作指示書」は提出した作品のみの制作指示ではなく、後述の課題の想定にある 100 シリーズ全体として、他の都市を制作する場合のことも想定して必要な指示を記述する必要があります。

- ③ 「制作指示書」の内容は以下の項目を「目次」として表紙に記述し、下記数字の順番で「制作指示書」の内容を作成して下さい。さらに受験番号、氏名、課題の種別も記述してください。

- 1 制作上の留意点（制作意図、標準化と効率化の工夫、原稿量の増減に対応するレイアウトの維持など）
- 2 制作環境（ハードウェア、ソフトウェア、環境設定、ファイルの授受など）
- 3 受注内容（受注先、制作物、仕様、納品形態など）
- 4 制作手順（スケジュール、全体のワークフローと画像処理のワークフロー、分業など）
- 5 標準化と効率化（再利用可能なテンプレートなど）
- 6 紙面設計（シリーズ物としてのレイアウトを継承しテキストの増減に対応した設計図、統一事項、自由裁量など）
- 7 パーツの詳細指定（第三者が他の都市を作成するために必要なパーツの指定など）

注）・制作手順の画像処理のワークフローには、倍率変更、解像度変更、プロファイル管理、USM 等を指示して下さい。この記述が無ければ不合格なる場合があります。

・紙面設計において設計図がない場合は不合格になります。設計図はシリーズを通して具体的に配置できる再現性が求められます。

I-2 採点基準

「制作指示書」は、

- ① **設計**：制作上の留意点、制作環境、制作手順、紙面設計、標準化と効率化など。
- ② **要素**：受注内容、パーツの詳細指定など。
- ③ **表現**：制作指示書の構成、可読性／正確さ、指定用語の使い方など。

「作品」は、

- ① **レイアウト**：配置、バランス、製版／印刷適性など
 - ② **文字／組版**：書体（サイズや種類）、組版、表組、文字校正、文書構造の表現など。
 - ③ **画像／色**：写真や図版の処理、彩色、配色など。
- 上記項目が採点の基準となりますので、この項目が訴求できるような表現・表記をすることが求められる作品の基準になります。

- ・「制作指示書」や「作品」は、制作及び提出条件の内容に合致していることが採点基準の前提となります。
- ・他の受験者（過去の受験者も含む）の提出物の不正複製と判断した場合は、複製者だけでなくオリジナル制作者もともにすべて無条件で不合格となります。画像や組版などパーツを流用してほとんど手を加えていない場合や、基本レイアウトの流用とみなされる場合も不正複製と判断します。
- ・過去の受験時に提出したものと同一制作物を提出す

ることはできません。過去データの一部（「制作指示書」「作品」とともに）を使用している場合も不合格になります。課題は、必ずこの35期の「手引き」と「課題データ」（ダウンロードデータ）を使って制作します。これらを使用していない場合は、条件違反で不合格になります。

- ・「制作指示書」と「作品」の整合性がとれない場合は減点あるいは不合格の対象となります。
- ・仕上がった作品のキャプチャ（画面コピーや作品そのもの）を設計図やレイアウト指定に使用してはいけません。本来の設計及び指定の順序と異なるため設計がされていないとみなし不合格になります。
- ・デザイン技能を採点する試験ではありませんが、一般的な旅行パンフレットとして不適切なデザインや手法は減点あるいは不合格の対象となります。
- ・課題の採点は筆記試験の採点とは関係なく行い、課題が不合格の場合は筆記試験の結果にかかわらず不合格となります。また、課題の提出がなければ不合格です。
- ・「作品」はPDF/X1-aの形式に適合していなければ、減点あるいは不合格の対象となります。

I-3 提出要項

I-3-1 提出の条件

- ①「制作指示書」と「作品」の2つを同時に提出して下さい。
- ②「制作指示書」と「作品」のそれぞれに**受験番号・氏名・課題名（ABの別）を明記**して下さい。
- ③**締め切り日厳守。「I-3-3 締め切りと提出先」を参照。**

注）すべての提出物は合否にかかわらず返却しません。

I-3-2 提出物

- (1)「制作指示書」
 - ① **A4 縦のサイズでPDF**で提出して下さい。
 - ②「制作指示書」の本文は、**A4 サイズで5ページ～10ページ程度**を目安にして下さい。
- (2)「作品」
 - ① **仕上がりサイズにトンボを付けてPDF/X1-aのデータ**で提出して下さい。
 - ②「作品」の仕様は各課題の条件や想定によって異なりますが、受験者自身が作ったものであること、入稿データとして必要な要素が含まれていることが条件です。
- (3)「その他」
 - ① いったん提出した「制作指示書」／「作品」の差し換えや追加などは認められません。よく確認してから提出して下さい。

I-3-3 締め切りと提出先

- (1) **締め切り：2011年4月12日（火）13：00（サーバのクローズ時間）**
- (2) **アップロード提出先：**

<https://www.jagatexp.info/dtp/>

注）最終日は混み合いますので早めにアップロードして下さい。

課題制作に関するお問合せについて

課題材料がダウンロード不能の場合、およびデータファイルの不良を除き、課題制作に関するお問い合わせには応じられませんのでご了承ください。

I-3-4 提出方法

- ① 詳細についてはJAGAT DTP エキスパートのWebサイトで確認して下さい。

<http://www.jagat.jp/dtp>

II-1 データの概要

II-1-1 データの確認

- ① 写真／図版のデータはいずれもラフなものです。制作環境や制作上の留意点、クライアントからの制作条件に合わせて、適宜、修整／変更を加えて下さい。ファイルフォーマット、解像度、拡大／縮小、トリミングなどに制限はありません。ただし、常識に反する変形や設定は減点の対象です。
- ② 元のデータはMacで作成しています。Mac以外の制作環境でのデータの変換や調整は、受験者自身で行って下さい。

II-2 課題データの内容

II-2-1 課題B「旅行チラシ」

ファイル名 フォーマット キャプションまたは内容

b_text.txt	text	テキストデータ
delhi_map.ai	ai	デリーの地図
india_map.ai	ai	インドの地図
logo.ai	ai	会社のロゴマーク／タイプ
mono_1.jpg	jpeg	地球（インド）
mono_2.jpg	jpeg	インドの旗（マーク）
photo_1.jpg	jpeg	タージ・マハルは宮殿……
photo_2.jpg	jpeg	フマユーン廟は……
photo_3.jpg	jpeg	アーグラ城塞は、……
photo_4.jpg	jpeg	クトゥブ・ミナールは……
photo_5.jpg	jpeg	エローラ石窟は……
photo_6.jpg	jpeg	アジャンター石窟群は……

II-3 課題B「チラシ」

II-3-1 課題Bの想定

以下は課題Bの制作の前提となる想定です。「制作指示書」と「作品」はこれに基づいて制作して下さい。

- ①旅行代理店の株式会社ワールドツアーから世界遺産シリーズという同社の新商品である旅行チラシの制作と印刷を依頼された。
- ②シリーズは全部で Vol.100 (1 地域 2 万部) まであり、第一弾として「文化遺産 Vol.1」のインドを制作する。
- ③ 1 枚もののビジュアルな印刷物で表面のみを制作する。裏面は旅行約款やディーラーのスペースになる。(提出作品は、表面が対象です。)
- ④シリーズを通してクライアントから支給される**テキストデータには増減があるため(みどころは4〜8カ所、表組のおすすめポイントは3〜6コースを予定)迅速正確に対応できる紙面設計**と制作ワークフローの構築が必要である。
- ⑤印刷は、オフセット印刷でスクリーン線数 175 線(画像解像度 350dpi) を予定している。
- ⑥クライアントへの確認用と印刷用データは**フォーマットを PDF/X-1a 形式とし、チラシ印刷物 2 万部の納期を受注の 15 日後とする**。
- ⑦その他クライアントからの条件 (II-3-5) に従うこと。

II-3-2 課題Bの提出物

課題Bの提出物は、「制作指示書」と「作品」の2つです。これらは以下の条件を満たしていなければなりません。

II-3-3 課題Bの「制作指示書」の提出条件
「制作指示書」は (I-1-2「制作指示書」の制作条件) とあわせて、以下の条件に従って下さい。

- ①「制作指示書」は A4 縦のサイズで PDF で提出して下さい。
- ②作品制作について制作上の留意点をつけて下さい。
制作上の留意点では、第三者がシリーズとして他の都市を制作する際に、一定水準の品質を保つために、**1. 作品のポイント(「制作意図」「作品の特徴」「どこを工夫したか」など)、2. 標準化と効率化を考慮した段取りや作業計画、3. 原稿量の増減にどのように対応するか**の3点について簡条書きで記述して下さい。
制作上の留意点は 400 字〜 1000 字程度で「制作指示書」の冒頭につけて下さい。
- ③「制作指示書」は分業やシリーズ性を前提とした標準化と効率化が最大のポイントです。第三者が「制作指示書」を見て他の都市も同様に制作できる指示が必要です。それらを考慮した上で、**統一すべき要素と自由裁量の要素をわかりやすく区別**して下さい。
- ④写真のデータについては、プロファイルの設定 USM のかけかたなど印刷に必要な処理を明記して下さい。

II-3-4 課題Bの「作品」の提出条件

- ①「作品」は**仕上がりサイズにトンボを付けて(製版**

サイズ、裁ち落とし 3mm) PDF/X-1a の形式に適合したデータで提出して下さい。(印刷の仕上がりサイズはレター判 216mm × 279mm です)。

- ②提出物には入稿データとして必要な要素が含まれていなければなりません。

II-3-5 課題Bの「作品」の制作条件

以下は「世界遺産シリーズ」全 Vol.100 の旅行チラシ制作にあたってクライアントから出された制作条件(注文)です。これ以外の仕様は作成者(受験者)の提案となります。

- ①4色で制作して下さい(表面のみデザインする)。
- ②仕上がりはレター判(216mm × 279mm) 縦長1枚とします。
- ③シリーズチラシなので、シリーズであることがわかるように工夫して下さい。
- ④レイアウトの要素は文字の他に表組 1 点と地図 2 点、写真、ロゴなどがあります。
- ⑤写真は6点のカラー写真と2点のモノクロ写真があります。カラー写真は6点中最低3点使用し、そのうち photo_1.jpg はアイキャッチとして大きく扱って下さい。photo_1.jpg は空を上方向に広げて使用して下さい。また全ての写真は目的に応じトリミング、レタッチなどを行って下さい。モノクロ写真は2点中どちらか1点のみ使用し、バックに薄く敷いたり、カット風に扱うことを想定しています。彩色などを工夫して下さい。
- ⑥カラー写真にはキャプションを入れて下さい。ただし、アイキャッチとして大きく扱う写真のキャプションは無くても構いません。
- ⑦写真によっては歪みや傾きを整えて下さい。また、ホコリがある場合があります。このホコリは取って下さい。
- ⑧カラー写真は、拡大縮小は自由ですが、縦横比率を変えたり、上下左右の反転使用はやめて下さい。また出力線数と使用寸法に合わせた解像度のリサイズと倍率も調整して下さい。
- ⑨表組は罫線を用い色アミを敷くなど工夫して下さい。
- ⑩「みどころ」と表組の「おすすめポイント」は各々文章と地図が連動しているので、なるべく近くに配置し、地図は彩色してわかりやすくして下さい。地図中の文字などはサイズ、書体を変更し見やすくして下さい。
- ⑪地図のファイルには、ぼかし機能が使用されています。ぼかし機能を効果的に使用し、PDF/X-1a に適合するよう適切に後処理して下さい。
- ⑫ロゴは「logo.ai」というファイルに1. 単色で使用する場合、2. バックが白または薄い色の場合、3. バックが黒または濃い色の場合の3種類があります。デザインに合わせて適切なものを1つ使用して下さい。拡大縮小は自由ですが、縦横比率と色の変更はやめて下さい。

II-4 課題Bのデータ

参考のため、次の都市のテキストデータを9ページ
(II-4-4 参考)以降に掲載してある。

II-4-1 課題Bの配布データについて

- ① クライアントからの条件(注文)や制作上の留意点に合わせて写真/図版データを修整/加工して下さい。ただし、常識に反する加工や変更は減点の対象になります。
- ② 配布データはインドのチラシの分ですが、制作は他の地域もすべて処理することを前提にして下さい。
(「みどころ」と表組の「おすすめポイント」の項目数の原稿量の増減に対応できるように処理する。)

II-4-2 課題Bのテキスト

配布されたテキストデータに、以下の手書きの指示の修正を反映させて組んで下さい。ただし、< >内はテキストの内容を示したもので、レイアウト時には削除して下さい。

注) 配布データの内容はあくまでも架空のものであり、事実と異なる場合があります。

<シリーズ名>世界遺産シリーズ [文化遺産 Vol.1]

<タイトル>インド

<キャッチコピー>国境を越えた人類共有の財産

<価格>178,000 円～

<価格の注釈> (5日間・2名1室利用)

<説明文見出し>

世界遺産の旅⁹¹¹
文化・歴史複合遺産

<説明文本文> ユネスコ(UNESCO: 国際連合教育科学文化機関)の主な活動の一つに世界遺産の認定があります。世界の文化や地球の自然を人類が共有できる大切な財産として守り、未来へ引き継いでいくための取り組みを進めています。

世界遺産は「文化遺産」、「自然遺産」、文化遺産と自然遺産の両方を満たす「複合遺産」があります。文化遺産には、「記念物」、「建築物群」、「遺跡」、「文化的背景」があります。

自然遺産には、優れた自然現象、生命進化の記録、地質学・地理学的に重要な地球の歴史の主要な段階、貴重な生態系や動植物群、絶滅の恐れのある種などがあります。

このシリーズは、そうした貴重な遺産を観てまわる壮大なツアーです。

第一弾としてインドの文化遺産をご案内いたします。

<みどころタイトル>インド文化遺産のみどころ

<みどころ見出し> ① ブッダガヤのマハーボーディー寺院

<みどころ本文> ブッダガヤは仏教の四大聖地の一つで、釈迦が悟りを開いた場所。釈迦はこの地で仏陀となり、村が「ブッダガヤ」と呼ばれるようになった。

<みどころ見出し> ② アジャンタ石窟

<みどころ本文> ワゴラー川に面する崖に、全長約 600m にわたって断続的にくりぬいて築かれた大小 30 の石窟で構成される古代の仏教石窟寺院群。インド最古の仏教絵画が残されている。

<みどころ見出し> ③ コナールクの太陽神寺院

<みどころ本文> 「太陽のあるところ」を意味するこの地は、太陽神スーリヤを祀る巨大な石窟寺院で知られる。

13 世紀にナラシンハ・デーヴァー世がイスラム教徒との戦いの勝利記念に建てたと伝えられている。

<みどころ見出し> ④ インドの山岳鉄道

<みどころ本文> ダージリン・ヒマラヤ鉄道は、インド北東部のニュージャールパイグリと紅茶の産地として有名な標高約 2100m にあるニュージャージリンを結ぶ山岳鉄道。1879 年にインドを統治していたイギリスが敷設した。時速 11km で全長 88km を約 8 時間かけて走る。

<みどころ見出し> ⑤ 大チョーラ朝寺院

<みどころ本文> インド南部タミル地方を支配したチョーラ朝が、王朝全盛期の 11 ～ 12 世紀に建立した三つのヒンドゥー教の寺院群。隅々まで密度の高い彫刻が施された回廊周壁で囲まれ、チョーラ朝の富と権力の象徴として南インド様式寺院の傑作といわれている。

<表組タイトル>首都デリーのおすすめポイント

トルツメ

<表組見出し>区分 名称 ポイント

<区分>A

<名称>国立博物館

<ポイント>インダス文明から近代までの展示物、延べ17万5000点を鑑賞できます。

<区分>B

<名称>インド門

<ポイント>第一次世界大戦で戦死したインド人兵士のための、高さ42mの慰霊碑です。

<区分>C

<名称>ガンディー記念博物館

<ポイント>インドが生んだ偉人ガンディーの人生の軌跡を辿ることができます。

<表外注記>休館日、入場料については出発前にお問い合わせください。

<photo_1 キャプション>タージ・マハルは宮殿の冠を意味する。ムガル帝国第5代皇帝シャー・ジャハーンが、1631年に亡くなった王妃ムムターズ・ハマルのために建てた。世界で最も美しいとされる総大理石造の墓廟建築。1653年に竣工された。

廟

廟

<photo_2 キャプション>フマユーン朝は1565年、ムガル帝国のフマユーン妃によって建てられたインド初の朝廟建築。広大な正方形の庭園は中央に水路を配した、ペルシアの四分庭園形式を取り入れた見事な融合建築。

<photo_3 キャプション>アグラ城塞は、デリーの南南東約200km、アグラ市ヤムナ川右岸にある。ムガル帝国第3代皇帝アクバル王によって1565～1573年に築いた壮大な赤い城。ペルシア建築とヒンドゥー建築様式が混在する。

<photo_4 キャプション>クトゥブ・ミナールはニュー・デリー郊外の草原にそびえ建つ5層からなる塔。高さは現在72.5mあり、インドで最も高い石像建造物。地震や落雷などで先端が崩れたものを修復したもので、当初は100mほどの高さがあったという。

<photo_5 キャプション>エローラ石窟はヒンドゥー教、仏教、ジャナイ教の3つの宗教の寺院が南北約2kmにわたって並ぶ大石窟群。紀元7から9世紀に造られ、いつからかヒンドゥー石窟の一つにシヴァ神が住むと言われるカイラーサナータ寺院がある。

<photo_6 キャプション>アジャンター石窟群はワグラー川沿いのU字形渓谷の断崖に大小30存在するインド最大の仏教寺院群である。紀元前1世紀から紀元7世紀にかけて造られ、カラフルな装飾文様や精巧な彫刻が豪華である。日本の法隆寺の壁画にも影響を与えたと言われる。

<問い合わせ等>

(驛) ワールドツアー 世界遺産シリーズ係

〒166-8539 東京都杉並区和田1-29-11 TEL 03-3384-3115

url <http://www.jagat.jp>

II-4-3 課題Bの写真／図版

(1) カラー写真

3点以上使用し、photo_1.jpg はメインとして大きく扱い、空を上方向へ広げて使用すること。
すべての写真にキャプションをつける（ただし、アイ

キャッチは任意）。

写真は歪みと水平垂直を直し、ホコリなども補正すること。



photo_1.jpg

タージ・マハルは宮殿の冠を意味する。ムガル帝国第5代皇帝シャー・ジャハーンが、1631年に亡くなった王妃ムムターズ・ハマルのために建てた。世界で最も美しいとされる総大理石造の墓廟建築。1653年に竣工された。



photo_2.jpg

フマユーン廟は1565年、ムガル帝国のフマユーン妃によって建てられたインド初の廟建築。広大な正方形の庭園は中央に水路を配した、ペルシアの四分庭園形式を取り入れた見事な融合建築。



photo_3.jpg

アーグラ城塞は、ニューデリーの南南東約200km、アグラ市やムナ川右岸にある。ムガル帝国第3代皇帝アクバル王によって1565～1573年に築いた壮大な赤い城。ペルシア建築とヒンドゥー建築様式が混在する。



photo_4.jpg

クトゥブ・ミナールはニュー・デリー郊外の草原にそびえ建つ5層からなる塔。高さは現在72.5mあり、インドで最も高い石像建造物。地震や落雷などで先端が崩れたものを修復したもので、当初は100mほどの高さがあったという。



photo_5.jpg

エローラ石窟はヒンドゥー教、仏教、ジャナイ教の3つの宗教の寺院が南北約2kmにわたって並ぶ大石窟群。紀元7から9世紀に造られ、いつからかヒンドゥー石窟の一つにシヴァ神が住むと言われるカイラーサナータ寺院がある。



photo_6.jpg

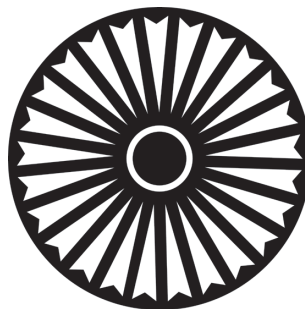
アジャンター石窟群はワーグラー川沿いのU字形渓谷の断崖に大小30存在するインド最大の仏教寺院群である。紀元前1世紀から紀元7世紀にかけて造られ、カラフルな装飾文様や精巧な彫刻が豪華である。日本の法隆寺の壁画にも影響を与えたと言われる。

(2) モノクロ写真

どちらか1点使用しバックに薄く敷いたり、カット風に扱う。



mono_1.jpg



mono_2.jpg

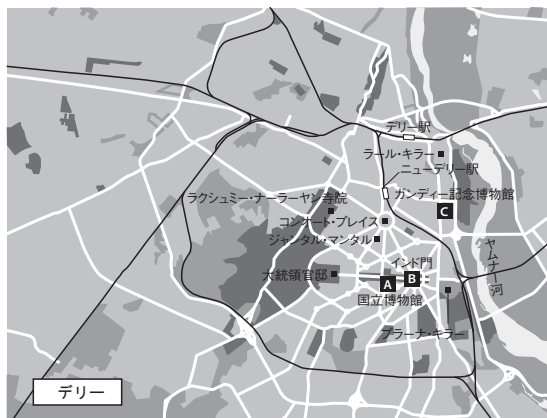
(3) 地図

地図は2点ある。2点とも使用しキャプションは不要。
拡大／縮小，彩色，修整などを行うこと。拡大／縮小
する際は地図中の文字サイズや線の太さにも配慮する
こと。また文章と地図は連動しているのでなるべく近
くに配置すること。

india_map.ai の地図には「ぼかし機能」が使用されて
いるため PDF/X-1a に適合するよう適切に処理するこ
と。ぼかしは取らないこと。



india_map.ai



delhi_map.ai

(4) ロゴマーク／タイプ

デザイン制作上の留意点や印刷条件などに応じて適宜
3つより1つ選んで使用すること。拡大／縮小は自由
とするが，形，色はそのまま使うこと。



logo.ai

II-4-4 参考

次のシリーズ Vol.2 の「中華人民共和国」の文字原稿を参考までに記載します。このデータはありませんのでご注意ください。

文字原稿は増減します。(中華人民共和国のみどころの項目数は6項目、表組のおすすめポイントの項目数は6項目です) 以下を参考に再現性を考慮して紙面設計を行って下さい。

<シリーズ名>世界遺産シリーズ [文化遺産 Vol.2]

<タイトル> 中華人民共和国

<キャッチコピー> 国境を越えた人類共有の宝

<価格>228,000 円

<価格の注釈> (5日間・1室2名利用)

<説明文見出し>

世界遺産の旅 911

文化・歴史・複合遺産

<説明文本文> ユネスコ（UNESCO：国際連合教育科学文化機関）の主な活動の一つに世界遺産の認定があります。世界の文化や地球の自然を人類が共有できる大切な財産として守り、未来へ引き継いでいくための取り組みを進めています。

世界遺産は「文化遺産」、「自然遺産」、文化遺産と自然遺産の両方を満たす「複合遺産」があります。文化遺産には、「記念物」、「建築物群」、「遺跡」、「文化的背景」があります。

自然遺産には、優れた自然現象、生命進化の記録、地質学・地理学的に重要な歴史の主要な段階、貴重な生態系や動植物群、絶滅の恐れのある種などがあります。

このシリーズは、そうした貴重な遺産を観てまわる壮大なツアーです。

インドに続き第二弾は中国の文化遺産をご案内いたします。

<みどころタイトル> 中国の文化遺産のみどころ

<みどころ見出し> ① 北京と瀋陽の故宮

<みどころ本文> 1420年に完成した明、清時代の政治の中核となった宮廷建築群である。約500年間に24人の皇帝の居城として使われた。

<みどころ見出し> ② 万里の長城

<みどころ本文> 河北省北東部の渤海湾にある山海関から甘粛省の嘉峪関までの険しい山脈や溪谷、大河をを超えて築かれた世界最長の、最大規模の城壁である。全長は約6,000kmを超え、明の時代以前を含めると12,000kmにも及ぶらしい。

<みどころ見出し> ③ 秦の始皇帝陵と兵馬俑坑

<みどころ本文> 秦の始皇帝は紀元前246年に、13歳で秦王に即位すると、自分の陵墓の造営に取りかかった。約40年の歳月をかけて始皇帝の死後の前208年、2世皇帝によって完成した。

<みどころ見出し> ④ マカオ歴史地区

<みどころ本文> 中国の特別行政区であるマカオには20以上の建築や広場などの古跡を含む地区がある。以前ポルトガルの植民地時代のマカオにおける東西文化の同化と共存を窺い知ることができる。

<みどころ見出し> ⑤ 黄山

<みどころ本文> 中国の十大風景名勝地の中で唯一の山岳風景区である。立ち並ぶ山々は氷河や風雨による浸食が一億年に亘って繰り返されてきた。水墨画、漢詩など中国独特の文化を生み出した。

<みどころ見出し> ⑥ 雲岡石窟

<みどころ本文> 北魏の時代（386—534年）に創建され同時代前後の敦煌莫高窟、洛陽龍門とならんで中国の大石窟の一つである。全長約1kmにわたる石窟群には51,000体もの仏像がある。

<表組タイトル> 首都北京のおすすめポイント

<表組見出し> 区分 名称 ポイント

<区分> A

<名称> 天安門

<ポイント> 北京市東城区に位置する城門。中華人民共和国の象徴の一つ。

<区分> B

<名称> 中国国家大劇院

<ポイント> 2007 年に建てられた新しい国立劇場。中国交響楽団もお楽しみ。

<区分> C

<名称> 中国国家博物館

<ポイント> 天安門広場東側に位置する総合博物館。館蔵の文物の合計は 62 万件にのぼる。

<区分> D

<名称> 北京自然博物館

<ポイント> 中国最大級の自然博物館。収蔵品数は約 20 万点もある。

<区分> E

<名称> 中国美術館

<ポイント> 中国最大級の規模を有する美術館。敷地面積 30,000m²、展示室の面積は 6,000m²。

<表外注記> 休館日、入場料については出発前にお問い合わせください。

<photo_1 キャプション>

(略)

<問い合わせ等>

(驛) ワールドツアー 世界遺産シリーズ係

〒166-8539 東京都杉並区和田 1-29-11 TEL 03-3384-3115

url <http://www.jagat.jp>